



# おすすめ児童書2月

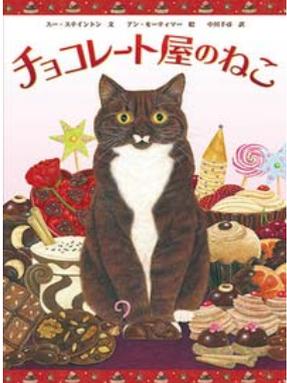


啓林堂書店 外商部  
 担当 森川・蔵田・八部・表野  
 Tel 0743-51-1000 / Fax 0743-53-5151  
 e-mail gaisyoubu@books-keirindo.co.jp  
 啓林堂書店HP <https://www.books-keirindo.co.jp>

## ▽ 幼稚園・保育園以上

	<p><b>やさいのがっこう いちごちゃんはやさいなの？</b> 作 なかやみわ ￥1,320</p> <p>いちごちゃんは、やさいのがっこうにやってきました。でも本当はくだものだと思っていたんです。だってあま〜いし、ケーキやパフェのデザートにもなるから。そこでいちごちゃんはくだもののがっこうに入れてもらいに行くけれど、やっぱりなんか違うみたい。いちごを通じて、やさいとくだもの違いをしてくれる絵本です。いちごはやさい？くだもの？</p> <p>ISBN 978-4-592-76299-7 白泉社 : 2022年 発売</p>
	<p><b>ぼとんぼとんはなんのおと</b> 作 神沢利子 絵 平山英三 ￥990</p> <p>冬ごもりの穴の中には、クマの母さんとふたごの坊やがいます。外から何か聞こえてきました。坊やたちはちょっと不安です。でも、母さんは、だいじょうぶ、と落ち着かせてくれます。その音は、春が近づいていることを教えてくれる音だったのです。あたたかい春が待ち遠しいお話です。</p> <p>ISBN 978-4-8340-0136-5 福音館書店 : 1985年 発売</p>

## ▽ 小学生以上

	<p><b>チョコレート屋のねこ</b> 文 スー・ステイントン 絵 アン・モーティマー 訳 中川千尋 ￥1,540</p> <p>小さな村の小さなチョコレート屋におじさんとねこが暮らしていました。ある日、おじさんがねずみのチョコレートを作りました。ねこがかじってみると、とってもおいしくて、なにかいいことを思いつきました。村の人たちも食べると素敵なことを思いつきました。ねずみチョコレートには不思議な力があるみたい。みんなが幸せになる魔法のねずみチョコレート、食べてみたいなあ。</p> <p>ISBN 978-4-593-50545-6 ほるぷ出版 : 2013年 発売</p>
	<p><b>ちきゅうのための1じかん あかりをけそう！アースアワー</b> 作 ナネット・ヘファーナン 絵 パオ・ルー 訳 おがわひとみ ￥1,540</p> <p>電気は人々の生活に欠かせないものです。世界中で、何億の人々が毎日、毎晩電気を使っています。2007年オーストラリアのシドニーで、地球温暖化のキャンペーンとして、一年に一回だけ一時間、世界の現地時間の午後8時30分に地球をぐるりと一周する「消灯リレー」が始まりました。2022年は3月26日。地球を守るきっかけとして、参加してみませんか？</p> <p>ISBN 978-4-566-08077-5 評論社 : 2021年 発売</p>